

第6次長期総合計画（あかしSDGs推進計画）特別委員会での主な意見について

明石市議会においては、「第6次長期総合計画（あかしSDGs推進計画）特別委員会」で「あかしSDGs推進計画」等について審議しています。

2月1日に開催された特別委員会（臨時）での主な意見について、情報提供させていただきます。

1 主な意見（概要）

(1) 両計画

- ・ 前回の素案より、本特別委員会の意見が反映されたことを評価する。

(2) あかしSDGs推進計画（第6次長期総合計画）

- ・ 計画の名称
 - SDGsの理解が進んでいない状況と、これまで市民になじみがある「第5次長期総合計画」を踏まえ、計画の正式名称を「明石市第6次長期総合計画」とし、サブタイトルを「あかしSDGs推進計画」とした方が良いのではないかと。
 - SDGsは、最近メディアでもよく取り上げられており、市民に浸透しつつある。計画の名称はこのままでいいと考える。
- ・ P15 「(1)目指すまちの姿」の「①まちづくりの基本理念」
 - 「すべての人に」の例示に、国籍は必要ない。ジェンダー平等や外国人も住みやすいまちづくりは必要だと思うが、推進計画の「すべての人に」の例示に国籍を入れると、住民投票の対象として外国人を認めることになりかねない。
 - 「すべての人に」の例示には、外国人（国籍）も含めるべきである。住民投票の対象などは、個々に議論していけば良い。
- ・ P19 「まちづくりにおける三側面の方向性」
 - 三側面の相乗効果は、総論または総括としてまとめる方が読みやすい。
 - 経済面の文章を分かりやすく整理した方が良い。
- ・ P21 「行政運営の基本姿勢」 ②更なる権限と責任に基づく持続可能で自立した行政運営

市民に一番近い基礎自治体として責任を果たすこと、市民サービスの向上に努めることは重要だが、「国や県に求める」のではなく、「権限を拡大する」という姿勢を示すべきではないか。

(3) あかしSDGs前期戦略計画(明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期))

- ・ P11 柱2 笑顔あふれる共生社会をつくる 展開方向2
ジェンダー平等の必要性をもっと市民に伝えるべきではないか。
- ・ P19 柱5 まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す
経済面の具体的な取組を盛り込むべきではないか。
- ・ P20 柱5 まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す 展開の方向2
文化・芸術には多様なジャンルがある。音楽に加えて現代アートや演劇など追加するべきではないか。
- ・ P21 柱5 まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す 関連する個別計画
本市の工業生産高は高い。工業についても、商業、農業、水産業など他の産業と同様に、工業振興計画を策定し、計画的に振興していくべきではないか。
- ・ P25 将来人口推計の基礎データ
推進計画に入れるほうが分かりやすいのではないか。